

タクシーのご用命は0120-148-512登山ハイヤーへ

無料

ご自由にお持ちください

箱根観光情報  
研究会

# 箱根観光情報新聞

箱根観光情報新聞  
2025冬号第一版  
令和7年12月17日発行  
企画制作  
箱根観光情報研究会  
協力  
箱根モビリティサービス(株)  
制作責任者:美馬 哲  
発行部数:700部

## 金太郎ゆかりの神社を訪ねる

箱根は古くから駒ヶ岳をはじめとした山々が信仰の対象だったため、人気の神社が沢山あるが、今号では仙石原の金時山山麓にひっそりと鎮座する公時神社を紹介しよう。

祀られているのは童話や童謡で知られる金太郎のモデルとなった坂田公時だ。坂田公時は天暦一〇年

(九五六年)の誕生とされ、

足柄山で育った。童話では熊と相撲を取るなどして元気に育ったと言われている。天延四年(九七六年)、

坂田公時は清和源氏三代目の源頼光に出会い、その力を認められて家来となり、酒吞童子(しゅてんどうじ)退治などで活躍して後に源頼光四天王と呼ばれるようになった。

現在の社殿は昭和三十六年



(一九六一年)の建立。地元の氏子会の努力で管理運営が続けられており、毎年五月五日の子供の日には国重要無形民俗文化財に指定されている「箱根仙石原湯立獅子舞」が奉納されている。

周辺には金太郎が手毬にしたと言われる「手毬石」や蹴落とし石、現在の社殿が建立される以前は祭祀が行われていた元宮「奥の院」が存在する。本誌編集長がチャレンジしたところ、奥の院までは二五分程。山道なので、歩きやすい

靴と服装がオススメ。「奥の院」は大きな岩の上に歴史を感じさせる祠と大きな鉾がある。帰りは下りなので、一五分位だろつ。

子供の成長や健康祈願、安全祈願のご利益があると言われる神社なので、年末年始のお参りにお薦めだ。社務所では御朱印、お守り、おみくじ、絵馬なども扱っている。お詣りの際に立ち寄ると良いだろつ。なお、公時は山名のように金時と表記とされることもある。諸説あるが、公時神社を運営する氏子会では公時を採用しているそう。

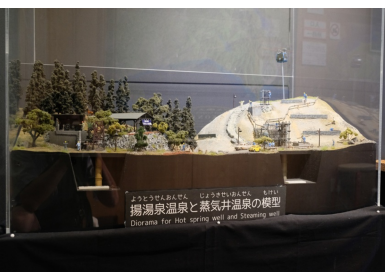
## 箱根ジオミュージアムで箱根の地形の形成過程を知る



しかし、観光でお越しになるほとんどの方が、展望台から谷の底を眺め、黒たまごを召し上がって、黒たまごのオブジェの前で記念撮影、晴れていれば富士山の風景をカメラに収めてお帰りになってしまふ。

箱根で一番の人気観光スポットとさえは大涌谷だ。現在もいたるところから噴気が上がっている現役の活火山の火口だ。

訪れた人はその雄大な景観を楽しみながら現在も続く地球の営みを感じることが出来るスポットだ。ここでも販売されている黒たまごも人気。黒たまごは一ついただく七十年長生きできるそう。



実は本紙編集長も調べ物などで度々お世話になっている施設だ。この施設は黒たまごやお土産を扱っているショップ、カフェがある。「黒たまご館」一階にある。入口は黒たまご館に向かう



て右側のスロープを下ったところだ。もちろん、黒たまご館の館内から階段で一階に下ることもできる。

二〇〇三年に老朽化のために閉館した「箱根町立大涌谷自然科学館」の後継の施設として二〇一四年に開館。箱根町観光課が運営しており、箱根ジオパークの拠点施設としても位置付けられている施設だ。

る。特にお勧めなのは箱根の地形の形成過程。

箱根の外輪山や大涌谷のある中央火口丘がどのようなプロセスを経て形成されたのか、芦ノ湖がいつ今の形になったのかが写真と解説で丁寧に説明されている。また、大涌谷の源泉として供給されている蒸気井温泉の仕組みも模型やジオラマで紹介されているのでご覧いただきたいところだ。



「こ来店いただけるお客様様にとって、ほっとするレ



## 名店訪問 箱根食堂開店

実した箱根観光になるだろう。英語表記もあるので、海外からのお客様にもお勧めだ。年中無休で開館時間は九時〇〇分～一六時〇〇分。入場料は一〇〇円。

今年一〇月、登山鉄道の終点強羅駅の北側にある宮城野に新しい食堂が開店した。店名は箱根食堂。

オーナーはノブレストランで知られる松久信幸氏。四季折々の風景とともに、訪れる人が心地よい時間を過ごせる場所というところで、宮城野に出店したとのこと。

宮城野は強羅や仙石原、桃源台方面に向かうお客様も立ち寄れる絶好のロケーションだ。

「こ来店いただけるお客様様にとって、ほっとするレ



ストランでありたい。」と言ったのが店の目標の一つ。テーブル席の他にカウンター席や個室、テラス席も用意されており、座席数は六〇席程度。テラス席ではワンちゃんもオッケーだ。

今回、本紙編集長は二回訪問して、「ランチボックス」と「ミニアジア丼と冷たい蕎麦のセット」を堪能。ランチボックスはお寿司にカリフォルニア巻き、アジのフライ、チキンにサラダ。



味ポリウムとも大満足。「ミニアジア丼と冷たいお蕎麦のセット」は新鮮なアジの丼と店内手打の二八蕎麦。のど越しが良く絶妙な味わい。スタッフの方の接客も素晴らしい。気になる「香ばしロティサリーチキンのピリ辛コク旨カレー」も鶏・カツオの出汁を使うなど和風の味付けだ。

なお、当面は土日祝日のみのランチ営業。スタッフが揃った段階で平日の営業を始め、将来的には夕食時の営業も考えているそうだ。



## 箱根観光情報新聞 創刊六周年・写真展開催

箱根観光情報新聞は今日一日に創刊六周年を迎え、今号は四七号目となり、累計発行部数は三一、二〇〇部となりました。取材や配布にご協力いただいた皆様

この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

なお、来年（令和八年）三月に宮ノ下のNaraya Cafeギャラリーで箱根観光情報新聞写真展「編集長が見つけた箱根の景色」を開催することになりました。写真展の詳細は本紙ホームページ、フェイスブックでお知らせしますので、どうか宜しくお願いします。

## お願い

本紙ではお客様にできる限り正確に情報をお伝えするよう努力しておりますが、紙面の都合上、お店の場所や営業日、営業時間などの詳細をお伝え出来ない場合がございます。お手数をおかけしますが、訪問される前にお店や施設のホームページなどで営業日、営業時間などをご確認ください。よろしくお願いいたします。

なお、左記QRコードで過去の記事や画像、編集長の思い出などを紹介した本紙ホームページにアクセスできるのでお試しください。



箱根観光情報新聞QRコード



箱根に観光に来たけれど「どこを見たらいいかわからない。」  
「効率的に観光したいけれど・・・。」  
とお悩みのあなた  
箱根観光は登山ハイヤーがおすすめです。

今すぐ  
0120-148-512(携帯OK)へ

